所管課	教育推進部青少年育成課

施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策
	第3章 元気創造都市	02 次世代育成	02 地域全体で子どもを育てる環境や仕組みを整備する

事業：子ども見守り事業

整理番号 1194

目的：登下校時の児童の安全を確保し、安全で安心なまちづくりに貢献するため。

目標：登下校時の児童を見守る体制を作る。

事業費・財源

事業費(決算額)(千円)	5,939
財源内訳 一般財源	5,939
財源内訳 国府支出金	0
財源内訳 地方債	0
財源内訳 その他特定財源	0

コスト情報・評価

総コスト(千円)	6,701
内訳 事業費	5,939
内訳 人件費	762
内訳 公債費	0
一人あたり(円)	60
世帯あたり(円)	142

総合評価：A

妥当性	A
効率性	A
有効性	A

評価理由：青色防犯パトロールを導入してから、巡回時間内での子どもを巻き込んだ重大事件が発生していないため。

貢献度

施策に対する事業貢献度：A

根拠：青色防犯パトロールを導入してから、巡回時間内での子どもを巻き込んだ重大事件が発生していないため。

今後の方向性：今後も地域と協力したパトロール活動について検討する。

事業優先順位 1　細事業：子ども見守りパトロール事業

整理番号 01

目的：青色防犯パトロール車を市内に巡回させることで、登下校時の児童の安全確保を図るとともに、犯罪の未然防止に役立てる。

目標：登下校時の児童の犯罪発生をなくす。

事業実施主体	直営	事業開始年度	平成18年度	根拠法令	

事業費・財源

	平成25年度	平成24年度	比較
事業費(決算額)(千円)	5,939	6,105	−166
財源内訳 一般財源	5,939	6,105	−166
財源内訳 国府支出金	0	0	0
財源内訳 地方債	0	0	0
財源内訳 その他特定財源	0	0	0
	0		
	0		

コスト情報・従事職員数

		平成25年度	平成24年度	比較
総コスト(千円)		6,701	6,899	−198
内訳	事業費	5,939	6,105	−166
内訳	人件費	762	794	−32
内訳	公債費	0	0	0
一人あたり(円)		60	61	−1
世帯あたり(円)		142	146	−4
参考	職員数(人)	0.10	0.10	0.00
参考	再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00

今後の方向性：今後も地域と協力したパトロール活動について検討する。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	A	小学生約5,400人

事業：子ども見守り事業

近年、児童を対象とした犯罪が多発し、児童の登下校などの安全・安心が脅かされていることから、青色回転灯を搭載した「青色防犯パトロール車」による見回り体制をとり、市内全域の通学路等の安全確保や、子ども見守り活動の一層の強化を図った。また、各小学校で「子どもの安全見守り隊」を組織し、地域をあげて登下校時の子どもの安全をサポートする取組を進めている。

細事業：子ども見守りパトロール事業

青色回転灯を搭載した「青色防犯パトロール車」に嘱託員２名が乗車。市内全域を巡回し、午前は主に通学路等の安全確認、午後は児童下校の様子の見守り、地域で活動している「子どもの安全見守り隊」に声掛けを行うなど、児童の安全確保を行った。また、概ね午後３時ごろから２時間程度、「５つの約束を守りましょう」のテープ広報を実施し、外で遊んでいる児童や地域の方々に周知した。その他、不審者情報などで児童被害情報を入手すると、直ちに現場に向かい、状況を確認するほか、周辺の重点パトロールも併せて行った。

巡回ルートは、１週間（平日５日）で午前・午後と分け、２～３小学校区をまとめて巡回。おおむね１週間で２回市内全体をカバーできるように実施した。

青色防犯パトロール車

子どもたちの登下校を温かく見守る
「子どもの安全見守り隊」